

Port of Hachinohe

No. **32**
Dec 2010

---Maritime & Trade Report---

- 今号の主な記事
- 八戸港が重点港湾に選定
- 内航フィーダーの航路改編
- 八戸セミナー2010開催
- 香港フードエキスポに参加～八戸港をPR～
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々

八戸港が重点港湾に選定

平成22年8月3日、国土交通大臣から「新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾」、いわゆる「重点港湾」が発表され、八戸港を含む43港が選定されました。「重点港湾」は、直轄港湾整備事業の選択と集中を図るために、港湾法で定義づけられた重要港湾103港の中から選定され、青森県では八戸港と青森港の2港、東北6県では大船渡港、秋田港、酒田港、小名浜港と合わせ6港が選定されております。

大臣の説明によりますと、重点港湾43港選定のポイントは、①基本的には一県に一港は拠点港を造るということ、②貨物の取扱量実績、③国際・国内海上運送網の拠点としての機能、④地域からの提案、⑤産業、経済を支える地域としての拠点、⑥民の視点、等々、総合的に勘案して選定したとのこととです。

今後も八戸港の整備促進が図られることにより、八戸市を中心とした北東北地域の経済発展はもとより、我が国の国際競争力強化に寄与することが期待されます。

地方	新規の直轄港湾整備事業の着手対象とする港湾
北海道	石狩湾新港(北海道)、函館港(北海道)、釧路港(北海道)
東北	八戸港(青森県)、青森港(青森県)、大船渡港(岩手県)、秋田港(秋田県)、酒田港(山形県)、小名浜港(福島県)
関東	茨城港(茨城県)、鹿島港(茨城県)、木更津港(千葉県)、横須賀港(神奈川県)
北陸	金沢港(石川県)、敦賀港(福井県)
中部	御前崎港(静岡県)、衣浦港(愛知県)、三河港(愛知県)
近畿	舞鶴港(京都府)、東播磨港(兵庫県)
中国	境港(鳥取県)、浜田港(島根県)、宇野港(岡山県)、福山港(広島県)、呉港(広島県)、岩国港(山口県)、宇部港(山口県)
四国	徳島小松島港(徳島県)、坂出港(香川県)、高松港(香川県)、松山港(愛媛県)、東予港(愛媛県)、高知港(高知県)
九州	苅田港(福岡県)、伊万里港(佐賀県)、長崎港(長崎県)、八代港(熊本県)、大分港(大分県)、中津港(大分県)、細島港(宮崎県)、鹿児島港(鹿児島県)
沖縄	那覇港(沖縄県)、中城湾港(沖縄県)



お問い合わせ先
八戸市建設部港湾河川課
TEL: 01778-43-9386

内航フィーダーの航路改編

10月から、八戸港の内航フィーダー航路が改編されました。内航海運業の井本商運株式会社（井本隆之代表取締役社長、本社：神戸市）は、これまでの週1便体制から、月曜日と金曜日に八戸港へ寄港する週2便体制へと増便し、東京・横浜だけでなく、神戸や名古屋、四日市へも寄港することになりました。

井本商運(株)



鈴与海運(株)



また、同じく内航海運業の鈴与海運株式会社（松下宗一代表取締役社長、本社：静岡市）は、航路を一部変更し、横浜・名古屋に加え、清水にも寄港するようになりました。

今回の航路改編により、八戸港から京浜港等国内主要港へのアクセスが向上し、海外との輸出入を行う場合にも、八戸港の内航フィーダー航路をご活用いただきやすくなりましたので、皆様ぜひ八戸港をご利用ください。

井本商運 寄港地	
月曜日便	八戸～仙台～東京・横浜～神戸～四日市・名古屋～横浜
金曜日便	八戸～仙台～東京・横浜～仙台～八戸

鈴与海運 寄港地	
隔週土曜日便	八戸～仙台～横浜～清水～名古屋～横浜～八戸

お問い合わせ先
井本商運(株)・鈴与海運(株)代理店
八戸港湾運送(株)コンテナ事業部
〒031-8608 八戸市大字河原木字海岸 16-4
TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119

八戸セミナー2010開催

八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会の主催により、八戸港の利用促進及び当市の立地環境の優位性を首都圏及び中部圏の企業にPRすることを目的とし、7月27日に名古屋市・ホテルマリオットアソシアで、28日には東京・東京ドームホテルで「八戸セミナー2010」を開催いたしました。

セミナーには、船会社をはじめ荷主や関係者の皆様、のべ480人の皆様にご出席いただきました。セミナーでは主催者から、八戸市や八戸港の概要を初め、企業誘致や八戸港の利用促進を図るための取り組みを紹介しました。

このほか、名古屋会場では八戸工業高等専門学校 校長の井口泰孝氏から、「進出企業に役立つ八戸での人材育成」と題してご講演、アルバック東北株式会社 代表取締役社長の小野信一氏から、「八戸は拠点、働くフィールドは世界」と題してご講演いただきました。

また、東京会場ではJX日鉱日石エネルギー株式会社 エネルギー・ソリューション本部ガス事業部長の林雅巳氏から、「JXの八戸LNG輸入基地について」と題してご講演、ヤフーバリューインサイト株式会社 ウェブソリューション本部サーファー部長の八木学氏から、「事業創造を支えた八戸の人財」と題してご講演いただきました。

また、後半の情報交換会の場におきましては、個別に八戸市や八戸港の紹介などを行い、さらなるPRを行ったところでございます。

出席された皆様からは、「八戸市及び八戸港の特色がよく判り有意義なセミナーだった」、「八戸港を有効利用できる物流改善に取り組みたい」、「このような機会を今後も提供してほしい」など、当セミナーの開催について、前向きな意見や感想をいただいております。このセミナーを通して、八戸市及び八戸港のコンテナ集荷を初めとする貿易振興策等につきまして多くの方々に関心を持っていただけたものと思っております。

今後も八戸セミナーに出席いただいた皆様と連携を密にとりながら、八戸港の貿易促進を初めとする地域産業の活性化に努めてまいりたいと考えております。



八戸市の紹介をする小林八戸市長(東京)



会場の様子(名古屋)

八戸港多目的国際物流ターミナルの機能拡充を要望

平成21年、八戸港のコンテナ貨物取扱量は初めて4万TEUを突破し、40,161TEUを記録しましたが、平成22年に入ってから、フェロニッケルやトナーカートリッジなどの輸出が引き続き好調に伸びており、上半期（1月～6月）の実績は前年同期比13.5%増の23,057TEUを取り扱っております。

八戸港多目的国際物流ターミナルの年間取扱能力は5万TEUと想定されておりますが、港湾利用者へのヒアリング結果などから、取扱貨物量は1～2年後、限界に達するものと見込まれ、早急な港湾施設の機能強化が求められております。

8月24日、八戸市長、八戸市議会議長、八戸商工会議所会頭、八戸港振興協会会長は、青森県知事に対し、①既存施設の機能強化、②南側ふ頭用地の整備、③ガントリークレーンの更新等について要望を行いました。

小林市長から竹内県土整備部長に要望書が手渡され、その際、竹内部長から「コンテナの増加に対応するため、国からの支援について、市などと協力しながら要望していきたい」と回答がありました。

青森県は、当面の対策として、平成23年3月までにコンテナ置き場に隣接する既存未使用地を有効活用したコンテナヤードの整備を実施するとしております。



お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL:0178-43-9386

タコマ港との経済貿易協定更新

8月3日、八戸グランドホテルにおいて、アメリカ合衆国ワシントン州タコマ港と青森県八戸港は、経済貿易協定を更新することとし、4度目の調印を行いました。この協定は、両港間の利益、両地域の経済全般の発展、両地域の社会・経済・文化などの様々な分野での長期的な友好を目的として、1995年に初めて締結したもので、今年が5年毎の見直しの年となっていました。

調印式には、タコマ港側からは、多々良タコマ港湾局アジア代表が出席、八戸港側からは、青森県副知事、八戸市長が出席し、八戸市議会議長や八戸商工会議所会頭、八戸港振興協会会長の立会いの下、調印を行いました。

調印式では、多々良タコマ港湾局アジア代表から、「この度の経済貿易協定延長について大変嬉しく誠に光栄に思う。この素晴らしい協力関係を将来にわたりさらに深めていくことを期待している。」というタコマ港湾局長からのご挨拶を伝えていただくとともに、この度の協定延長を記念して、記念品の交換が行われました。

今回の経済貿易協定の延長を機に、両港の友好関係がさらに深まることと期待しています。



調印後の記念撮影



記念品交換(小林八戸市長から多々良代表へ)

「八戸港貿易促進セミナーin弘前」開催

本年9月1日(水)、弘前市内において「八戸港貿易促進セミナーin弘前」(主催:八戸港国際物流拠点化推進協議会、共催:青森県、八戸市、(株)八戸港貿易センター、日本貿易振興機構青森貿易情報センター、後援:(株)青森銀行、(株)みちのく銀行、青い森信用金庫)を開催、津軽地域の荷主企業を中心に、73名の参加がありました。

冒頭、港湾管理者である青森県から八戸港の紹介を行ったあと、「ネットを活用したビジネス・マッチングの現状について」と題して、アリババマーケティング(株)常務執行役員兼営業本部長の井上勉氏から、「台湾における青果物事情」と題して、(株)インサイト代表取締役社長の森山種生氏から、それぞれご講演いただきました。

参加者からは、「八戸港の利用を検討したい」「八戸港を実際に利用している人の話が聞きたい」など、セミナー内容を評価する声をいただいたほか、「さらに踏み込んだ、実務的な内容が聞きたい」「制度上の詳細な解説が聞きたい」など、今後のセミナーの参考となる意見も寄せられました。



会場の様子



八戸港の紹介

香港フードエキスポに参加～八戸港をPR～

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、去る8月11日～15日の間、青森県農林水産物輸出促進協議会が主催する県産品の販売促進活動に参加し、香港で毎年開催される国際見本市「香港Food Expo2010」への出展や、個別商談・意見交換、市場調査等を行ってまいりました。

今回は、青森県農林水産物輸出促進協議会が香港において、県産米を始めとした県産品の販売促進活動を実施するにあたり、合わせて、八戸港を利用した輸出拡大を図ることを目的として参加しました。

「香港Food Expo2010」の出展では、各種情報収集・発信及び地場産品(ナガイモ加工品や水産加工品等)の輸出可能性調査並びに八戸地域及び八戸港のPRを行いました。

ナガイモはとろろジュースとして試飲を提供し、概ね好評を得ました。水産加工品はどれも好評でしたが、しめ鯖に関しては好き嫌いが分かれており、比較的若い人に好評でした。

会場は、日本、韓国、中国、香港など国ごとにエリアが分けられており、日本のブースは大変混雑していることから、「食の安全・安心」の意識が高まり、日本食へのニーズが高まっているものと感じました。

香港は農林水産省のデータによると、過去3年、日本の農林水産物の最大輸出先となっており、香港における日本食品・農林水産物は着実に需要が増えております。また、急速な経済成長を続ける中国市場への入り口とも考えられることから、今後も継続した事業活動を行い、地場企業の販路開拓及び、八戸港の利用促進を図って参りたいと思います。



青森県のブース



来場者に好評な水産加工品



会場の様子

中国向けりんごの輸出拡大に向けて情報交換 ～中国のりんごバイヤーを本県に招へい～

県と輸出関係団体で組織する青森県農林水産物輸出促進協議会では、去る10月12日～13日に中国(北京、上海、深圳)からりんごバイヤーを本県に招へいし、市場やりんご選果施設等の視察を行ったほか、中国人バイヤー、国内商社、産地出荷者の3者での意見交換会、商談会を開催しました。

意見交換会では、中国人バイヤーからは、「青森りんごのPR活動が足りない」、「世界一の生産量を増やしてほしい」との意見が出されたのに対し、産地出荷者からは「世界一以外の品種を伸ばさないと輸出量は増えない」、また、国内商社からは「青森の様々な品種を食べてみて中国で売れる品種を探してほしい」などの意見が出されました。

また、10月13日の商談会には、八戸港国際物流拠点化推進協議会のメンバーも加わり、台湾等へ輸出している国内商社を対象に八戸港のポートセールスを行いました。

今回のような国内商社が参加した中国人バイヤーとのマッチングは初めての試みでしたが、国内商社からは、「中国人バイヤーから具体的な情報を開けたのはいい機会だった」との声が多く、今後の輸出拡大に向けて貴重な情報交換の場となりました。



弘果弘前中央青果の視察



中国人バイヤーとの商談

お問い合わせ先

青森県農林水産部
総合販売戦略課
海外販路開拓グループ
TEL:017-734-9574
FAX:017-734-8158

水産加工品の中国市場への販路拡大に向けて

(株)八戸港貿易センターでは、「八戸産水産加工品 中国市場販路拡大に向けた輸出戦略―「八戸いか・さば」インチャイナ・プロジェクト―」を、経済産業省の平成22年度JAPANブランド育成支援事業に申請し、この度採択されました。

本プロジェクトでは、八戸の地域産業の“強み”である水産加工業(特にイカ・サバ加工品)を活かし、中国市場への販路拡大を図り、八戸地域の活性化につなげるため、効果的な戦略の策定を目標に、来年3月まで活動する予定です。

この取組みを通して、今後の地元水産加工品の海外展開に繋げていきたいと考えております。

お問い合わせ先

(株)八戸港貿易センター
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達に深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q 関税の金額ってどうやって計算するの?

A 海外から商品を輸入する時、商品名、数量、価格等を記載した輸入(納税)申告書を税関長に提出し、必要に応じ検査を受けた上、輸入許可を受けなければいけません。

輸入申告は、原則として外国貨物が保税地域に搬入された後に、輸入申告書を提出し行われますが、これには関税算定のもととなる課税標準となるべき数量と価格を記載します。

輸入の際の課税価格は、商品価格の他に、海上輸送費と船荷保険料を加算したいわゆるCIF価格となります。この課税価格に、商品毎に定められている関税率が加算されて関税が算出されます。ちなみに、貨物の数量は財務大臣が貨物の種類ごとに定める単位によります。

外国通貨で表示された価格の日本円への換算は、輸入申告の日の属する週の前々週における実勢外国為替相場の当該週間の平均値を使用します。商談時に取り決めた商品価格と、その為替レートの時期が輸入申告時期とずれる場合がほとんどですので、商談時の内容を元に関税を考えているとズレが生じてしまうので注意が必要です。

～3年連続大型客船の入港 八戸港のさらなる飛躍に向けて～ 「にっぽん丸」が八戸港へ寄港

9月28日(火)、八戸港に商船三井客船株の「にっぽん丸」(22,472トン)が八戸港に寄港しました。

今回のクルーズは、「秋の味覚 根室・八戸・大船渡クルーズ」横浜港発着5泊6日の行程の中での寄港となりました。

当日は、八太郎4号ふ頭P岸壁に接岸し、白川船長・長谷川機関長・福元ゼネラルマネージャーに出席いただき、入港セレモニーが行われました。奈良岡副市長から歓迎の挨拶後、入港記念品として「八戸えんぶり」の彫金の壁掛けやイカ墨焼酎が贈られました。セレモニーの後には、地元保育園の園児による歓迎のマーチングバンド演奏が披露され、船上の乗客は笑顔で拍手を送っていました。

その後、乗客の皆様は、初秋の十和田湖コースのほか、「にっぽん丸農園」と銘打った南郷区でのリンゴ狩り&「山の楽校」でのそば打ち体験など、全5コースを地元の人達と交流しながら八戸の豊かな自然と食を満喫していただきました。そば打ちなどの体験コースは、従来のにっぽん丸のオプションツアーでは企画されたことがなく、今回の八戸での企画が初めての試みだったとのこと。

乗客がツアーに出発された後で、一般市民による船内見学が行われました。40分ほどの見学でしたが、見学者はラウンジやバーなどの豪華な設備を見ながら、優雅なクルーズに思いを馳せていました。

また、この日岸壁では、「八戸せんべい汁」が振るまわれたほか、「北のフルーツパーラー体験」コーナーを設置し、もぎたてフルーツを使ったタルト作りを楽しんでいただきました。さらに、「八戸前沖さば」を使用した「八戸バーガー」など、八戸ならではの地場産品の販売なども行われ、乗客の皆さんはもちろん、乗組員の方からも大好評でした。

残念ながら午後5時からの出港イベント・セレモニーは、雨の中で行われましたが、八戸小唄や南部手踊、さらに八戸えんぶりと法霊神楽など、迫力十分で見応えのある芸能が披露され、多くの乗客の皆さんが最後まで見送りのセレモニーを楽しんでくださいました。最後は、小林八戸市長からの挨拶の後、午後7時にたくさんの市民が見送る中、汽笛を高々と長く鳴らしながら、次の寄港地である大船渡港へ向けて出発しました。

八戸市では、観光振興策のひとつとして、大型客船誘致事業に取り組んでから、今回、3年連続(「平成20年 ばしふいっくびいなす」「平成21年 飛鳥II」)での寄港となりました。今後も国内のみならず海外の客船など、たくさんの客船に継続的に寄港していただけるよう、誘致活動に取り組んで参ります。



白川船長ご挨拶



出港の様子



保育園児による歓迎の演奏



市長挨拶

「にっぽん丸」

初代・にっぽん丸は1958年に竣工。現在のにっぽん丸は三代目、2010年3月に大改装され、船体の色も白から、紺色と白の落ち着いたツートンカラーに塗り替えられました。全長166.6m、全幅24m、総トン数22,472トン、船客定員202室(524名)。船全体のコンセプトは「海の別世界」。寿司バーや茶室も備えており、90日間の世界一周旅行中でも同じメニューは二度出ないと言われるほど充実した食事で、「食とくつろぎのにっぽん丸」と親しまれています。

お問い合わせ先

八戸市まちづくり文化観光部観光課
TEL:0178-46-4040

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成22年12月現在(天津、シンガポール、タコマ)の3名に「八戸市海外経済協力員」を委託し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課(TEL0178-43-9244)までご連絡ください。(なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承ください。)

REPORT

天津レポート



2010年度
「天津市海河友誼賞」
授与式典開催

三八五グループ中国在住代表
魏 鴻泉さん

2010年9月20日午後4時に、天津音楽学院演出ホールで、2010年度「天津市海河友誼賞」の授与式典が開催され、三八五流通グループ泉山会長など10名の方々が天津市人民政府崔津渡副市長から「海河友誼賞」を授与されました。

「天津市海河友誼賞」とは、天津市内を流れる「海河」という川の名前を冠し、1993年に市政府が設立した「外国専門家海河榮譽賞」で、2006年に「天津市海河友誼賞」に改められ、天津市に在住して仕事をしている外国人専門家に市政府から贈られる最高級褒賞です。年に一回、市の外国専門家局が各界から推薦された多数の方々を審査、教育・科学研究・新聞・出版・文化・芸術・衛生・スポーツなどの分野で天津市の経済発展及び人材育成に多大な貢献をした外国人を表彰し、感謝の意を表すものであります。

この賞は、毎年10人程度の外国人専門家に授与しています。

泉山会長は、30年に亘り天津市との人的、経済的交流を深めたこと、並びに研修生の受け入れを通じて天津市の物流業界の発展に貢献したことが高く評価され、天津市交通集団の「人材導入専門家」として、2010年度の「天津市海河友誼賞」を受賞しました。

天津市「人的資源と社会保障局」の孔長起局長が「2010年度天津市海河友誼賞受賞者を表彰する決定」を公表した後、天津市人民政府崔津渡副市長及び市の関係部門のトップの方々が受賞者に賞状を授与しました。

受賞者を推薦した部門あるいは会社の責任者などが、授与式典に参加しました。



授与式典に参加した泉山会長

REPORT

シンガポールレポート



がんばるシンガポール

柴田真理さん

シンガポール政府統計局のデータによると、2009年にシンガポールを訪れた観光客は968万人。対して、日本への外国からの観光客と商用旅行者の総数は679万人。琵琶湖よりちょっと広い程度の小国シンガポールを訪れる外国人が、日本を訪れる外国人総数よりはるかに多いのです。

シンガポール政府は、国際会議や見本市の誘致、教育や医療サービスの拡充による留学生や教育関係者の誘致増に取り組んでおり、その中核に位置付けられているのがシンガポールの行楽地「セントーサ島」と、新しく開発中の「マリーナベイエリア」に建設を進めてきた2つの総合リゾートです。

「セントーサ島」では、シンガポール国内初となるカジノ併設型リゾート「リゾート・ワールド・セントーサ」が今年2月に営業を開始し、ユニバーサルスタジオ、カジノ、ハードロックホテルなどが立地し、高級ブティックが建ち並ぶ新しい総合リゾートに変わりました。先日息子とユニバーサルスタジオに行きましたが、日本に比べて規模は小さいものの、迫力あるアトラクションや、日本とまったく別のプログラムで、家族みんなが満足できるようによく考えられていると感じました。国民性の違いなのかと思うのは、スタジオ内は混雑しているのに、絶叫系マシンには並ぶことなく、何度も乗れることです。こちらの人は、絶叫系マシンが苦手なのかもしれません。

新都心マリーナベイエリアに建設された2つ目のカジノ併設型リゾート「マリーナベイ・サンズ」は大手カジノ企業「ラスベガス・サンズ」が完成させた総合リゾートで、今年4月に開業しました。客室数が2,500以上もある高級ホテル、国際会議場に加え、三つの超高層建築の屋上をつないで作られた空中庭園、ショッピングモールで構成されています。その堂々とした建物は、地震が無いシンガポールならではの面白いデザインで圧巻です。

そして日本食ブーム。こちらのデパートで日本食の物産展が開催されるたびに大混雑しています。沖縄、四国、九州、北海道等、日本食がブームになってきているのを実感します。日本より価格が割高でも飛ぶように売れているのです。早く八戸のせんべい汁も来ないかな?とひそかに期待してしまいます。



マリーナベイ・サンズ

八戸港の貿易概況報告(平成22年1月~9月)

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、紙製品・一般機械・有機化学品等の好調により著しく増加(前年比144.5%)。輸入額においては、亜鉛さい・ニッケル鉱・亜鉛鉱等の好調によりかなりの増加(前年比114.8%)。輸出主要国は、オランダ・台湾・中国など、輸入主要国は、アメリカ・オーストラリア・インドネシアなど。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に、輸入はやや不調だったが、輸出の好調により増加(前年比109.1%)。

■平成22年1月~9月の貿易額(単位:千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計
(八戸港・むつ小川原港・久慈港)から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	11	29,788,909	110.0%	103.3%
フェロニッケル	MT	115,231	37,856,507	101.5%	161.7%
有機化学品	KG	1,385,080	526,164	193.8%	227.6%
紙 製 品	MT	15,578	1,095,897	1568.8%	1231.0%
一 般 機 械			47,860,148		171.3%
鉄 鋼 製 品	MT	3,181	37,220	1281.2%	56.6%
飼 料	MT	342	20,332	118.8%	104.6%
魚 介 類	MT	12,115	1,582,414	127.8%	151.8%
鉄 鋼 く ず	KG	25,478,410	902,139	83.2%	100.3%
電 気 機 器			125,721		51.3%
そ の 他	—		2,338,235		134.8%
合 計	—		122,133,686		144.5%

●コンテナ貨物通関額 ()内は対前年比

輸 出	483億11百万円(161.6%)
輸 入	97億25百万円(81.4%)
合 計	580億36百万円(138.7%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	8,837TEU(124.3%)
輸 入	7,392TEU(95.0%)
合 計	16,229TEU(109.1%)

輸 入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	1,009,483	10,706,247	103.9%	192.7%
とうもろこし	MT	655,021	14,008,717	97.7%	95.8%
ニッケル 鉱	MT	1,986,304	13,768,658	140.1%	188.1%
木 材	CM	18,884	461,810	87.3%	84.9%
亜 鉛 鉱	MT	86,940	4,933,460	107.3%	152.2%
亜 鉛 さい	MT	12,275	634,690	153.2%	317.5%
大 豆 粕	MT	243,507	9,629,277	128.3%	119.3%
魚 介 類	MT	13,076	2,975,924	74.9%	69.1%
飼 料	MT	71,686	1,355,418	134.3%	74.5%
石 炭	MT	486,044	4,960,099	128.2%	113.7%
こ ー り ゃ ん	MT	162,576	3,583,577	89.2%	103.6%
ウッドパルプ	MT			全減	全減
カ オ リ ン	MT	29,793	647,258	82.3%	80.2%
肥 料	MT	9,569	355,912	182.8%	151.7%
コークス等	MT	53,783	1,705,973	80.4%	73.3%
鉛 鉱	MT	27,079	3,641,122	87.8%	126.7%
金 属 製 品	MT	4,648	1,082,173	159.2%	106.4%
その他穀物	MT	33,579	664,962	393.6%	415.2%
糖 蜜	MT	5,584	109,975	108.0%	125.4%
一 般 機 械			412,982		38.8%
そ の 他	—		10,482,278		152.3%
合 計	—		86,120,512		114.8%

塩分摂取量を5年間で25%削減

—ニューヨーク市(米国)が計画推進—

ニューヨーク市が、レストランとスーパーマーケットで販売される食品の塩分を25%削減する5ヵ年計画を推進しています。ニューヨーク市によると、塩分の摂取量は、過去数十年間で50%以上増加しており、米国人のほとんどが、勧告限度量の2倍以上の塩分を摂取しています。摂取塩分の8割が加工食品、パッケージ食品、レストランでの食事によるもので、ときには、1食で1日の限度量を超えてしまうことがあるといえます。過剰摂取は、高血圧ひいては心臓発作や脳卒中のリスクを高めると考えられています。塩分の削減計画に対しては賛否両論がありますが、消費者の認識不足も問題になっています。

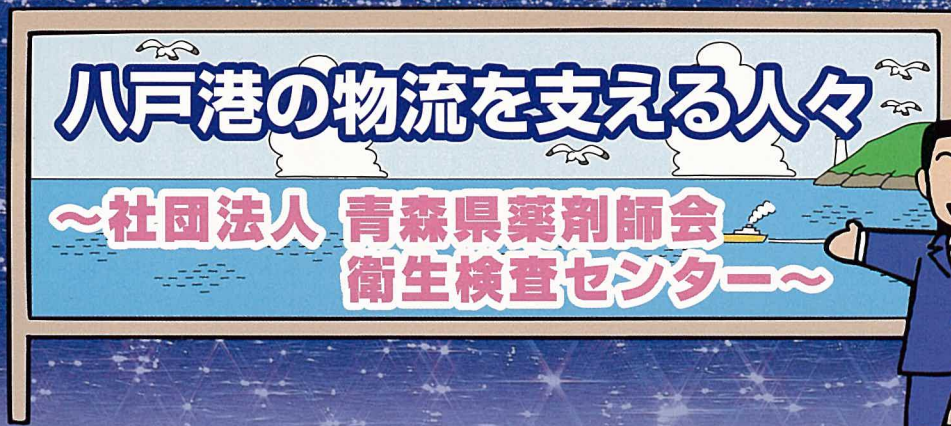
<合計86品目の塩分削減目標量を提示>

ニューヨーク市はこの計画を2010年1月に発表しました。全米26都市と全米の保健機構17団体と協力し、「全米塩分削減イニシアチブ(NSRI: The National Salt Reduction Initiative)」という活動を主導、食品製造者やレストランに対して食品に含まれる塩分の削減を自主的に行うように呼び掛けています。

NSRIは、塩の主成分であるナトリウムについて、2014年までの5年間で25%削減することを目標に、各食品の具体的な含量の目標値を提示しています。パッケージ食品15カテゴリー(パン、シリアル、肉類、スープ、乳製品、油脂、ソースと調味料、スナック、イモ類、調理済み食品、野菜、豆類、ツナ缶詰、香辛料、ナッツ類)61品目と、レストランの食品10カテゴリー[ハンバーガー、チキン、シーフード、サンドイッチ、朝食用サンドイッチ(マフィンやベーグルなどのサンドイッチ)、ピザ、メキシカン、ポテト、スープ、ベーカリー]25品目のそれぞれについて、2012年と2014年のナトリウム含量の目標値を設定しています。

発表された目標値は、法的規制ではなく、企業の自主的な取り組みを促すものです。目標値を達成できなくても、その食品を販売することはできます。塩分削減を表明した企業は、NSRIが公式に登録することになります。ナトリウム削減の目標値は、それぞれのカテゴリーに含まれる製品全体に適用されます。企業は、個別の製品に限って塩分削減を表明することはできません。

日本貿易振興機構(JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階



八戸港は国内有数の水揚量を誇る漁港であり、水産加工品の製造も盛んで、世界の市場に売り込もうという取り組みは、官民あがて行われています。世界的な食に対する安全志向の高まりなどもあり、水産物の生産・流通過程に関しては、国と国の間で取決められた規定が適用されています。輸出先毎に必要な手続きが異なることから、事前にしっかりとした準備が必要です。

(国・地域別の詳細については厚生労働省ホームページから参照していただけます。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syokuanzen/jigyousya/index.html>

今回は、中国向けの水産食品について証明書発行機関に認定され、平成22年4月から証明書発行業務を開始している、社団法人青森県薬剤師会衛生検査センターをご紹介します。

青森県薬剤師会は、薬剤師の倫理的及び学術的水準を高め、公衆衛生と社会福祉の向上を目的にしており、各種研修等の開催、医療連携の推進・強化等に取り組んでいます。その事業の一環として、昭和54年11月に衛生検査センターが青森市に設立されました。検査項目は、飲料水等の水質検査を皮切りとして、食品検査、食品衛生管理、医薬品検査、臨床検査、大気検査、土壌検査など、対応分野を広げてきました。平成16年には、八戸支所を開設して輸出入手続きの窓口を拡充し、青森県南のみならず岩手県北地域の窓口としても利用が広がっています。平成21年4月に青森中核工業団地内に新築移転し、規模は旧施設の3倍以上となり、最新の検査機器を整備して、より高い検査精度で信頼される検査機関を目指し、活動しています。



衛生検査センター

中国向けの輸出水産食品について、日本の厚生労働省と中国政府の間で取扱要領が協議され、平成21年11月に従来の自治体による申請・証明書押印等の手続きが廃止されることが決まりました。それに代わり、厚生労働省が認定した検査機関が証明書発行業務を行うこととなり、青森県薬剤師会衛生検査センターを含む4法人の検査機関が認定を受けました。

中国へ水産食品の輸出を行う場合は、まず「施設登録」が必要になります。従来、登録すべき施設は、製造・加工・処理・保管に関する全ての施設が対象でしたが、平成21年の要領変更により、加工品にあっては最終保管施設のみの登録となりました。

実際の輸出を行う際には、衛生証明書の発行手続きが必要となりますが、この前に施設登録が完了していることが前提となります。衛生証明書の発行には、官能検査（人が視覚・嗅覚・触覚等を用いて食品を評価すること）が含まれますが、平成22年9月からは一定の条件を満たした場合は、官能検査が免除されることになり、手続きの緩和が行われています。

食の安全への関心や、環境意識の高まりにより、企業活動に関する国際的な標準化や基準強化は一般的な考えになっています。これからも様々な面で衛生検査の重要性は高まるものと思われるので、公正・中立な検査機関として取り組んでまいります。多くの皆様のご利用をお待ちしております。



八戸支所担当者

お問い合わせ先

社団法人青森県薬剤師会 八戸支所
八戸市大字堀端町2-3 八戸商工会館5階
TEL:0178-71-2505 FAX:0178-43-5119

コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運(株)	週1便(土)	《寄港地》台湾(高雄、基隆、台中)、中国(上海) 《接続地》東南アジア全域、中国、豪州、欧州、南米、アフリカ他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便(火・水)	《寄港地》韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(天津新港、大連、青島、上海、寧波) 《接続地》中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送(株)	月1便(水)	《寄港地》アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(火or水)	《寄港地》横浜 《接続地》世界各港
		井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週2便(月・金)	《寄港地》東京・横浜、神戸、四日市・名古屋 《接続地》世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	隔週(土)	《寄港地》横浜、清水、名古屋 《接続地》世界各港

PIL : Pacific International Lines (Singapore) WSL : Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	6	13
台中(台湾)	7	12
高雄(台湾)	8	11
香港(中国)	11	19
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	9
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	17	16
ジャカルタ(インドネシア)	26	21
バンコク(タイ)	22	23
レムチャパン(タイ)	23	15
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	23	20
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



八戸港で実施された「テロ対策訓練」についてご紹介します。
 八戸港保安委員会及び八戸港危機管理コアメンバーは、9月10日、ポートアイランドにおいて、八戸港埠頭・水域保安及びテロ対策訓練を実施しました。この訓練は、「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」に基づき、テロなどの危害行為を防止するため、平成16年度から実施しています。
 当日は、八戸海上保安部や八戸警察署など26機関から約100人が参加したほか、船舶5隻が参加しました。
 陸上では、河原木1号埠頭のゲートで出入管理する保安要員が、不審者を発見し関係各機関へ通報するとの想定から始まり、通報により駆けつけた八戸警察署員が不審者を取り押さえるなどの訓練を実施しました。また、海上では不審船を海上保安部の巡視艇及び青森県警察本部の警備艇が、追跡、補足する訓練を実施しました。
 今後も、八戸港を安心してご利用いただけますよう、保安の向上と危機管理体制の強化を図っていきます。



不審者を取り押さえる様子
 青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所
 TEL:0178-28-2105 FAX:0178-20-4746

編集後記

現在、日本では、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)への参加が検討されています。TPPとは、APEC参加国であるニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイの4カ国が発効させた、貿易自由化を目指す経済的枠組みで、工業製品や農産品、金融サービスなどをはじめとする、加盟国間で取引される全品目について関税を原則的に100%撤廃しようというものです。
 本誌記事でもご紹介しましたが、当協議会では、今年8月に香港の商談会へ参加し、農水産物をPRしてきました。
 仮に日本がTPPへ加盟することになれば、自動車等工業製品の輸出ははずみが付くことは予想されます。一方、米をはじめとする農水産物への影響を懸念する声もかかれています。八戸港への影響も考えられることから、今後も、TPP加盟への動きに注目していきたいと思っております。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
 - 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
 - 新丸港運送株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
 - 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
 - 三八五流通株式会社(八戸区域事業所) TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
 - 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-20-3040 FAX:0178-20-3154
 - ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444
- 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫
 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内
 TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp